2026

うらやす市民大学募集案内



令和８年度募集期間

7月13日(月)
～
8月31日(月) ※必着

■受講期間見直しのため、令和８年度は半期（10～３月）の募集となります。

■令和８年度はより多くの方に受講していただけるよう全ての講座に保育を設け、一部の講座は「オンデマンド（インターネット視聴）」「夜間実施」などを新たに整えました。
新しい出会いの中で、地域のさまざまな課題の解決に向け一緒に学びませんか。

01 市長挨拶

令和８年度うらやす市民大学受講生募集にあたって

うらやす市民大学は、市民の皆様がまちづくりに必要な知識や技能を身につける場として、平成 21 年度に開校以来、多くの皆様にご参加いただいています。これまでの受講生の皆様には、学びの成果を活かし、多様な地域活動を通じて安心して暮らせるまちの形成にご尽力いただいていることに、心より感謝申し上げます。

我が国を取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少、気候変動による自然災害の増加、急激な物価高騰による経済情勢の変化など、暮らしの先行きの見通しが困難な時代となっています。このような時代だからこそ、市民の皆様一人ひとりが学びを深め、地域のさまざまな課題の解決に向け、行政だけではなく、市民の皆様、市民活動団体や事業者など、多様な主体の連携がより重要になってきます。

令和８年度うらやす市民大学の講座内容につきましては、これまで好評の介護予防、子育て支援、環境保全、防犯などに加え、新たに「対話」をテーマにした講座を開設しました。地域の絆を強め、より良いまちづくりにつなげる機会の創出になることを期待し、この講座では互いの価値観を尊重し、異なる意見も理解し合うコミュニケーション力を高めることを目指しています。

また、仕事と子育てを両立しながらも、地域の活動を知る機会や学べる環境の充実として、子育て中の方も受講しやすいよう、すべての講座で保育をつけています。そして、「インターネット視聴」「夜間実施」「回数の変更」と受講形態を新たに整えました。

受講を通じた交流は、新たなつながりを生み、地域の活性化に大きく貢献します。受講生の皆様が地域社会における新たなつながりと役割を見つけ、さまざまな場面で活躍されることを心よりお祈り申し上げます。

皆様のご参加をお待ちしています。

令和８年７月

浦安市長　　内　田　悦　嗣



02 学長挨拶

市民自治とまちづくりを支える学びをつくる

いま、世界では、いまだ止むことのない戦争、地球規模での温暖化と環境問題、経済的格差と貧困問題、激甚化する自然災害など、さまざまな問題が噴出しています。ここ浦安においても、こうしたグローバルな課題と結びつきながら、急速な少子高齢化などを背景に、教育・子育て、健康・医療・福祉、防災など、市民が主人公となったまちづくりと市民自治を育むための「学び」が求められています。

うらやす市民大学は、２００９（平成 21）年に開講しましたので、途中コロナ禍で休校を余儀なくされた時期もありましたが、17 年の歴史を重ねてきました。２０２２（令和４）年には、新たに２年制の「まちづくりサポーターコース」も新設されました。この８月 22 日には３期生の修了レポート中間発表会も行われます。

本募集要項に掲載されている令和８年度に開講される講座は、市民自治論、市民のまちづくり論、うらやすで介護予防を進めるために、地域を一人ひとりを支える対話力、環境のために私たちにできること、浦安のまちづくり形成史を読み解く、安全で安心なまちづくり、子育てを支える“まち”をつくる、の８講座です。いずれも浦安のまちづくりの課題と向き合った講座です。

今期は、オンラインによるオンデマンド方式の学習形態や、夜間や１日２コマ（全５日）など開講形態も工夫してみました。なお、今期の令和８年度を経て、令和９年度からは、コロナ禍前と同様に、令和９年６月から令和 10 年３月までの開講に戻します。

うらやす市民大学を受講するなかで、仲間とともに学びあい、また講師の先生方や浦安市の職員の方々とも学びあうなかで、これからの浦安市のまちづくりを考えてみませんか。

多くの市民がうらやす市民大学を受講されることを心から願っています。

令和８年７月

うらやす市民大学学長　長　澤　成　次



03 うらやす市民大学の概要

■**趣旨**：「うらやす市民大学」は、まちづくり活動を行うために必要な知識や技能を学び、市民の皆さんが地域に貢献するまちづくりの担い手となり、活躍するための学びの場です。

うらやす市民大学のコンセプト

○「市民自治」によるまちづくりの推進
○市民の自主的なまちづくりを拓く市民大学
○受講生の関心に応じて深化・発展させる学習環境づくり

■**特色**：うらやす市民大学には２種類の受講形態があります。

※令和８年度は、受講期間見直しのため、自由選択コースのみの募集となります。

●自由選択コース

ご自身の関心やまちづくり活動の状況に合わせて受講することができます。

※まちづくりサポーターコース

（令和８年度は募集を行いません。令和９年度募集予定です。）

地域課題をめぐって、自分の関心を自由に膨らませながら、自分たちで考えて行動するための知識や技能を体系的に学ぶことができるコースです。必修講座や自由選択講座など、規定の講座数を受講することで、２年間で 10 講座を受講します。２年次に開講されるゼミ形式の修了演習では、各自が取り組む市民活動やフィールドワーク等をもとに、修了レポートをまとめていきます。修了した際には、修了証が授与されます。

■**授業科目**：８科目の開講を予定しています。
■**授業時間**：１授業９０分（※オンデマンド講座は６０分程度）
■**受講料**　：１講座（１０回）あたり　５，０００　円
■**参加証明書の発行**：生徒や学生が学校等への提出を目的に参加証明書の発行を希望する場合、出席状況やレポートの提出等を踏まえて発行します。
※詳しくは、うらやす市民大学事務局までお問い合わせください。

＜まちづくり基本条例とうらやす市民大学の関わり＞

令和４年４月１日に施行した「浦安市まちづくり基本条例」では、まちづくりの基本的な考え方として、「まちづくりは、市民の意思に基づいて自ら進められることを基本とする」としており、「まちづくりを進めるに当たり、自らできることは自ら、自分たちでできることは自分たちで考えて実践する」と定めています。また、まちづくりの基本原則の一つである「参加と連携協力の原則」により、個人、近隣、地域コミュニティ、市民活動団体や事業者などの多様な主体がまちづくりに参加し、市や議会とともに連携協力してまちづくりを進めることとしています。

うらやす市民大学は、浦安市まちづくり基本条例の考え方に則り、市民の皆さんの自主的なまちづくりを拓く人材育成の場として、市民自治によるまちづくりを推進します。

04 市内における活躍の場

市内では、市民の皆さんが主体となって、コミュニティづくりや地域課題解決のために、様々な分野でまちづくり活動を展開しています。また、市には活動を支援するための施設や支援制度などがあります。うらやす市民大学での学習をきっかけに、ご自身の形で、まちづくり活動を始めたり参加したりしてみませんか。

■地域活動団体

まちづくり活動の中で最も身近な活動は、自治会や老人クラブ、ＰＴＡ、マンション管理組合など、特定の地域において行う活動です。

■市民活動団体

まちづくり活動の中で、特定のテーマ・分野で行う公益的活動を市民活動といいますが、市内では、多くの団体が多様な分野で活動しています。団体の支援を目的に運営している浦安市市民活動センターの利用承認を受けている団体は令和８年３月末時点で２２６団体あり、様々な分野の市民活動が市内で行われています。

市民活動センターとは・・・



市民活動やボランティア活動を行っている団体やこれから始めようとする人たちに「相談対応」「情報」「活動拠点」「ネットワーク」「備品」といった社会的資源を提供し、様々な側面から市民活動を支援しています。

コーディネーターが常駐しているので、団体の立ち上げに関する相談や運営方法へのアドバイスなど気軽にご相談いただけます。

「ボランティアをやってみたい」「地域のために役に立ちたい」「市民活動に関心がある・もっと知りたい」とお考えの方はぜひご利用ください。

住所：〒 279-8501　浦安市猫実 1-1-1（市庁舎 10 階）電話：047-305-1721　FAX：047-305-1722
Ｅメール：shiminkc@jcom.home.ne.jp　ホームページ：http://www.u-shimin.genki365.net
開館日：日曜日～金曜日　午前９時～午後５時
休館日：土曜日・祝日・年末年始（12 月 29 日～１月３日）

市民活動補助金制度とは・・・

市民活動団体が行う事業の経費の一部を補助することにより、自主性のある市民活動と市民活動団体の自立を促進させるための制度です。上限額 10 万円の「自立促進事業（はじめの一歩）」と、上限額 50 万円の「活性化事業（ステップアップ）」の２種類があり、事業実施の前年度に募集を行い、選定委員会による候補事業の選定を経て、市が補助対象候補事業として決定した後、事業の実施年度の交付申請が可能となります。

【市民活動に関するお問い合わせ】

浦安市　市民経済部　市民参加推進課
〒279-8501　浦安市猫実１-１-１（市庁舎３階）　電話：047-712-6059（直通）
Ｅメール：shiminsanka@city.urayasu.lg.jp

05 令和８年度募集要項

■**申込期間**：令和８年７月 13 日（月）から８月 31 日（月）まで（必着）

■**申込資格**：市内在住・在勤・在学・市内でまちづくり活動を行っている方で、うらやす市民大学の趣旨に賛同し、まちづくり活動を積極的に行う意欲のある方。

申し込み多数の場合は抽選となります。

■**申込手続**：●申込書を提出する場合

受講申込書に必要事項をご記入のうえ、うらやす市民大学事務局または市民参加推進課（市役所３階）にご持参、またはうらやす市民大学事務局まで郵送してください。うらやす市民大学事務局及び市民参加推進課での受付は、土日祝日を除く午前８時 30 分から午後５時までです。

●電子申請の場合

二次元コードまたは市公式ホームページのオンラインサービス（ちば電子申請サービス）のページからお申し込みください。

■**申込結果**：申込結果は受講の可否にかかわらず、９月中旬に文書で通知します。

■**受講手続**：

・受講者は、結果通知に記載の手続き(受講料の納入)を９月 25 日（金）までに行ってください。
・受講料の納付書は、結果通知とともに送付します。
・納入された受講料は、途中で受講を中止した場合でも返還しません。
・受講にかかる教材費や交通費など、別途実費負担が発生する場合があります。

■**注意点**：

・うらやす市民大学に専用の駐車場はありません。
・講義の日時・内容は、開講後に変更となる場合があります。

■個人情報の取り扱いについて：

「個人情報の保護に関する法律」に基づき、申込時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報についてはうらやす市民大学事務局の業務でのみ使用します。

06 受講までの流れ

申込期間	申込結果の通知	受講料の入金	開講式	講座開始
7月13日(月) ～ 8月31日(月) （ 必着 ）	9月中旬	9月25(金) まで	10月2日(金) 午前10時～	10月6日(火) から

07 開講式のご案内

■**日時**：令和８年10月２日（金）午前10時～（受付９時30分～）
■**場所**：浦安市まちづくり活動プラザ３階　うらやす市民大学　講義室１

開講式　内容
開講式
市長講演
学長基調講演 【講師】長澤　成次（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長）

修了レポート中間発表会のご案内

令和８年度にまちづくりサポーターコースの２年目を受講している方たちの修了レポート中間発表会を行います。

■**日時**：令和８年８月22日（土）午前10時～12時
■**場所**：浦安市まちづくり活動プラザ３階　第１多目的室
■**定員**：先着40名
■**申込**：７月13日（月）からメールまたは電話でお申し込みください。





08 うらやす市民大学講座一覧

■令和８年度実施　※全ての講座に託児サービスがあります（市民自治論は対面時のみ）

講座番号	講座名 コーディネーター氏名（肩書き）	授業期間	時間	掲載ページ
2602-01	市民自治論 これからのまちづくりに何が必要か オンデマンド（インターネット視聴） 関谷　昇（千葉大学大学院社会科学研究院教授／うらやす市民大学副学長）	令和８年１０月９日（金）～令和９年２月２６日（金）	※視聴時間自由	９～１０
2602-02	市民のまちづくり論 学びとまちづくり活動との好循環をつくる ※校外学習あり 長澤　成次（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長）	令和８年１０月１６日（金）～令和８年１１月２７日（金）	１３：００～１６：１５	１１～１２
2602-03	うらやすで介護予防を進めるために 住み慣れた町で最後まで自分らしく生きるために 櫻井　しのぶ（順天堂大学大学院医療看護学研究科教授）	令和８年１０月６日（火）～令和９年１月１９日（火）	１０：００～１１：３０ほか	１３～１４
2602-04	地域を、一人ひとりを支える対話力 孤立しない居場所づくりを目指して New 岩室　紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）	令和８年１０月７日（水）～令和９年３月２４日（水）	１３：００～１４：３０	１５～１６
2602-05	環境のために私たちにできること 暮らしと環境とのつながりを捉え直す ※校外学習あり 石井　雅章（神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授）	令和８年１１月１５日（日）～令和９年３月７日（日）	１０：００～１４：３０ほか	１７～１８
2602-06	浦安のまちづくり形成史を読み解く 市民生活を支える施設や制度から 夜間 中山　高樹（地域政策プランナー/元浦安市市長公室長）	令和８年１０月８日（木）～令和９年３月１１日（木）	※１９：００～２０：３０ほか	１９～２０
2602-07	安全で安心なまちづくり 自分たちのまちは自分たちで守ろう ※校外学習あり 平田　恵二（元千葉県警察犯罪抑止戦略官）	令和８年１０月８日（木）～令和９年２月４日（木）	１０：００～１１：３０ほか	２１～２２
2602-08	子育てを支える“まち”をつくる 多様な立場から考える共助のデザイン New 大神　優子（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）	令和８年１０月１７日（土）～令和８年１２月５日（土）	１３：００～１６：１５	２３～２４

■令和９年度のお知らせ【重要】

受講期間の見直しにより、令和９年度は４月から募集を開始します。
「まちづくりサポーターコース」の募集は、令和９年度から再開予定です。

■参考

以下の講座は、令和７年度募集（令和８年４月～９月実施）の講座です。
令和９年度に向けて各種講座を準備しています。

講座名 コーディネーター氏名（肩書き）
浦安で、自分らしく、役割を感じながら、楽しく生き抜くために 居場所・つながり・お互い様がなぜ必要なのかを考えます 岩室　紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）
花のまちづくりガーデニング講座 花と緑、彩り溢れるまちを目指して 大嶋　陽子（京都芸術大学通信教育部ランドスケープデザインコース非常勤講師）
家族とまち・マンションを守るみんなの防災 自助なくして、共助なし 中林　一樹（明治大学復興・危機管理研究所客員研究員／東京都立大学名誉教授）
まちづくり活動ブラッシュアップ講座 活動の質を高めるために 朽木　量（千葉商科大学総合政策学部教授）
わたしのまちづくり活動（現場で団体の事例から学ぶ） ずっと暮らしたい“うらやす”へ 畑山　文恵（特定非営利活動法人浦安まちづくりネット理事長）
高齢化する市民社会における経済と法 市民社会の「知」の探求 兼重　賢太郎（明海大学不動産学部教授）

講座番号【２６０２－０１】

市民自治論　-これからのまちづくりに何が必要か-

※1 オンデマンド（インターネット視聴）

コーディネーター　関谷　昇（千葉大学大学院社会科学研究院教授／うらやす市民大学副学長）

【科目概要】

いま自治体は大きな転換期にあります。人口減少、少子高齢化、低成長経済、コミュニティの流動化が本格化するなか、まちのあり方は大きく変わりつつあります。税収が減っていくことで公助は縮減の一途を辿っていくことになるでしょうし、市民にとっては何を自助や共助で実践し、何を公助に委ねるのか、その見直しが求められていきます。ただ、そうは言っても、市民の多くがまちづくりに積極的に関わっているとは言い難いところがありますし、地域の諸資源を多角的に活かしていくにはさまざまな壁が立ちはだかっています。そうした諸問題をいかにとらえ、克服していけるかが喫緊の課題となっています。

本講座では、まちづくりの背景においてどのような動きが生じているのかという大きな流れを確認するところから始まり、「自治」とは何かということを探っていきます。明治期から今日に至るまで、「自治」という営みはどのようにとらえられてきたのか、そこにはどのような特徴や課題があるのか、歴史を概観しながら考えます。次に、地域コミュニティの現在を取り上げながら、直面している課題について考察します。合わせて、自治会、地域活動団体、NPO、民間企業などの諸活動はこれからどうなっていくのかを展望します。その上で後半では、市民自治の実践として、行政・議会のあり方を再考していきます。転換期にあるということは、これまで前提としていたさまざまな社会機能がそのままでは持続しなくなってしまうということを意味する以上、公的活動のあり方は市民生活からとらえ直されなければなりません。市民は行政や議会とどのような関係を再構築していくべきか、改めて問います。市民自治の意味を知ることで諸問題を探る知恵を身につけ、課題に応えていく構想力を膨らませていきます。

なお、今期の授業は原則オンデマンドで実施することとし、第６回と第 10 回については、対面で質疑応答とディスカッションを行います。

視聴可能日程	回	内 容
令和８年 １０月９日（金） ～ １０月２２日（木） （６０分程度）	1	**「囲い込み社会」から「越境する社会」への転換** 20 世紀モデルが、領域・業界・専門性といった境界線に囲い込まれた社会で、その枠組みの中で諸活動が営まれていたとするならば、21 世紀モデルは、その境界線が流動化し、様々なものが交わると言われます。その時代の転換期において、まちづくりはどうあるべきか？　その課題と方向性を確認します。 **【講　師】関谷　昇**（千葉大学大学院社会科学研究院教授／うらやす市民大学副学長）
令和８年 １０月２３日（金） ～ １１月５日（木） （６０分程度）	2	**「自治」の歴史（１）** 明治時代に翻訳語として定着した「自治」という言葉は、どのような意味を持って近代日本で用いられてきたのでしょうか。各々の時代における諸課題とこの言葉の意味を結びつけながら、町内会の歴史に見出される特徴を確認することによって、日本における地域自治の歴史を概観します。 **【講　師】　関谷　昇**
令和８年 １１月６日（金） ～ １１月１９日（木） （６０分程度）	3	**「自治」の歴史（２）** 「自治」とは逆に、国家や官僚が市民を管理統制する体制が「官治」です。この中央集権的な「官治」の克服を目指し、自治体の自由度を高めて自立的な運営の実現を推進する地方分権改革は、この「自治」の再構築を目的としています。その現状と課題について確認しながら、今後の行方について考えます。 **【講　師】　関谷　昇**
令和８年 １１月２０日（金） ～ １２月３日（木） （６０分程度）	4	**地域コミュニティの変容と課題** 地域コミュニティの自治は、合理化・効率化を求める近代化の文脈の中では、もっぱら克服の対象とされてきました。しかし、人口減少・少子高齢社会が本格化して、東京一極集中や都市型生活に歪みがもたらされ、さらに行政主導の諸政策の限界が出てくると、改めて地域コミュニティが注目されるようになります。ここでは、今後の地域コミュニティから「自治」の可能性について考えます。 **【講　師】　関谷　昇**

視聴可能日程	回	内 容
令和８年 １２月４日（金） ～ １２月１７日（木） （６０分程度）	5	**地縁型の活動およびテーマ型の活動の現状と新たな流れ** 日本の地域社会においては、自治会・町内会に代表される伝統的な地縁型の活動と、NPO やボランティアに代表されるテーマ型の活動が主流ですが、近年では新たな活動主体やプラットフォームも形成されています。ここでは、地域活動の基本と現状、これから問われていく課題と可能性について考えます。 **【講　師】　関谷　昇**
令和８年 １２月１８日（金） １０:００～１１:３０	※2 6	**ディスカッション（１）**　**対面（うらやす市民大学講義室にて）** これまでの講義を振り返りながら、これからのまちづくりの可能性について、一緒に考えます。 **【講　師】　関谷　昇**
令和９年 １月１５日（金） ～ １月２８日（木） （６０分程度）	7	**市民と行政** 自治体政府は、首長と議会との二元代表制によって成り立っていますが、その一翼である自治体行政は、市民自治の観点からどのようにとらえることができるでしょうか。首長のリーダーシップ、市民の行政参加などはこれからどのように展開していくのか、その意義と課題について考えます。 **【講　師】　関谷　昇**
令和９年 １月２９日（金） ～ ２月１１日（木） （６０分程度）	8	**市民と議会** 自治体政府のもう一つの担い手である自治体議会は、市民自治の観点からどのようにとらえることができるでしょうか。代表制を介した意思決定のあり方、選挙、市民の政治参加など、市民と政治とのかかわりはこれからどうなっていくのか、その意義と課題について考えます。 **【講　師】　関谷　昇**
令和９年 ２月１２日（金） ～ ２月２５日（木） （６０分程度）	9	**浦安における「市民自治」** 浦安において市民自治を具現化していく可能性を探ります。これまでの浦安まちづくりの特徴と課題を確認するとともに、いま見出される可能性を紐解きながら、これから市民・行政・議会は何をすべきかを考えます。 **【講　師】　関谷　昇**
令和９年 ２月２６日（金） １０:００～１１:３０	※2 10	**ディスカッション（２）**　**対面（うらやす市民大学講義室にて）** これまでの講義を振り返りながら、これからのまちづくりの可能性について、一緒に考えます。 **【講　師】　関谷　昇**

備　考　※1 オンデマンド（インターネット視聴）は、ご自宅や職場など、受講生の都合にあわせて録画された講座の内容を視聴することができますが、回ごとに視聴可能期間があります。

※2 第６・10 回については、対面（うらやす市民大学講義室）での実施となります。

○　科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

コーディネーターからのメッセージ

関谷　昇　先生

日本の近世時代において、「自治」という営みは地域生活の原点にあった考え方です。いま、人口減少・少子高齢社会・グローバル社会の本格化によって、まちづくりのあり方は大きく変わろうとしていますが、そこで改めて注目されているのが「自治」の思考と実践です。行政に依存するのではなく、自分たちでできることを考え、実践していくことこそが、これからのまちづくりに必要不可欠だからです。歴史を知り、現場を知り、自分（たち）にできるまちづくりを考えていきましょう。



講座番号【２６０２-０２】

市民のまちづくり論－学びとまちづくり活動との好循環をつくる－

コーディネーター　　長澤　成次（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長）

【科目概要】

市民の学びとまちづくり活動との好循環を生み出すためには、市民の自主性・自発性が大切にされなければなりません。その精神を浦安市まちづくり基本条例は「まちづくりは、市民の意思に基づいて進められることを基本とする」と表現しています。本講座では、市民主体のまちづくりをめぐる課題を学ぶとともに、市民による実際のまちづくり活動の事例や地域を創る図書館・博物館・公民館などの社会教育施設の取り組みから学びます。

日 程	回	内 容
令和８年 １０月１６日（金） １３:００～１６:１５	１ ・ ２	**市民のまちづくり論** ここでは主に戦後日本の地域で取り組まれてきた「まちづくり」にかかわる取り組みを通して、市民主体・住民主体のまちづくりについて考えます。また、後半は、前半の講義をふまえつつ、受講生のこれまでのうらやす市民大学での学びや問題関心を共有する作業を通じて「市民のまちづくり論」を考えます。 **【講　師】　長澤　成次**（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長）
令和８年 １０月３０日（金） １３:００～１６:１５	３ ・ ４	**市民のまちづくりの実践から学ぶ** 千葉市にある日本ファイバーリサイクル連帯協議会（JFSA）を訪問し、衣類・せんい製品のリサイクル事業について、また教育支援（パキスタン・カラチ市にある学校）についてもお話しいただきます。 **【講　師】　日本ファイバーリサイクル連帯協議会**（JFSA）／ **長澤　成次**／ **畑山　文恵**（特定非営利活動法人浦安まちづくりネット理事長）
令和８年 １１月１３日（金） １３:００～１６:１５	５ ・ ６	**市民のまちづくりの実践から学ぶ** 弁天ふれあいの森公園を訪問し、実際に公園ボランティア活動を行っている市民の方から、公園での活動内容、地域や他団体との連携についてお話を伺います。 **【講　師】　後藤　隆**（ふれあいの森公園を育む会代表）／ **長澤　成次／畑山　文恵**
令和８年 １１月２０日（金） １３:００～１６:１５	７	**市民の学びを通して地域を創る浦安市中央図書館** 浦安市中央図書館を訪問し、担当職員から事業内容を紹介していただきながら、実際に図書館で活動している市民の方からお話をしていただきます。 **【講　師】　浦安市立中央図書館職員／図書館で活動する市民活動団体／** **長澤　成次**
	８	**市民の学びを通して地域を創る浦安市郷土博物館** 浦安市郷土博物館を訪問し、担当職員から事業内容を紹介していただきながら、実際に博物館で活動している市民の方からお話をしていただきます。 **【講　師】　浦安市郷土博物館職員／博物館で活動する市民活動団体／** **長澤　成次**

日 程	回	内 容
令和８年 １１月２７日（金） １３:００～１６:１５	9	**市民の学びを通して地域を創る浦安市高洲公民館** 1946 年に文部省が「町村振興の底力を生み出す場所」として全国に設置を呼びかけた公民館。浦安市高洲公民館を訪問し、担当職員から事業内容をお聞きするとともに公民館で活動する市民活動団体等からお話をしていただきます。 **【講　師】　浦安市高洲公民館職員／ 公民館で活動する市民活動団体等／長澤　成次**
	10	**市民のまちづくり論　―まとめー** これまでの講座をふりかえりながら「市民のまちづくり」をめぐる課題を受講生とともに考えます。 **【講　師】　長澤　成次**

備　考　　○　科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子





コーディネーターからのメッセージ

長澤　成次　先生

「市民のまちづくり論」では、受講された市民の皆様のまちづくりに関する問題関心を共有しながら、市民の学びの力をまちづくりに活かすための行政の支援や、浦安市内で活動する団体・グループ・ＮＰＯなどの多彩な活動・実践、そして市民の学びを支え・地域を創る図書館・博物館・公民館などの社会教育施設における事業やそこでの市民活動から学ぶプログラムを準備しています。

浦安における持続可能なまちづくりをめざして共に学んでみませんか。



講座番号【２６０２-０３】

うらやすで介護予防を進めるために－住み慣れた町で最後まで自分らしく生きるために－

コーディネーター　　櫻井しのぶ（順天堂大学大学院医療看護学研究科教授）

【科目概要】

介護予防に関する知識や必要な技術の習得、地域活動への主体的な参加体験、地域における介護予防についての問題点の抽出等を通じて、介護予防について学ぶ機会を提供します。

日 程	回	内 容
令和８年 １０月６日（火） １０：００～１１：３０	1	**介護予防とは** 介護予防の概念からその重要性を学ぶとともに、介護予防への取り組みが及ぼす、まちづくりの必要性について考えます。 **【講　師】　櫻井　しのぶ**（順天堂大学大学院医療看護学研究科教授）
令和８年 １０月２０日（火） １３：００～１６：１５	2	**うらやすにおけるロコモ・フレイル予防の取り組み 　市内のフレイルの状況と社会的フレイル予防** 自立して元気に動き続ける身体を保つためのロコモ・フレイルに関する概要と、その中でも社会的フレイル予防の重要性についてお話しします。そして、市内で実施している予防活動の取り組みについてもご紹介します。 **【講　師】　原田　静香**（順天堂大学医療看護学部先任准教授）
	3	**３－1 低栄養予防と口腔機能向上** 高齢期に適した健康づくりのための低栄養予防と口腔機能向上の取り組みや、その意義と実践方法についてお伝えします。 **【講　師】　浦安市高齢者包括支援課** **３－２介護予防アカデミアの活動のご紹介** 市民活動団体「浦安介護予防アカデミア」が行政と連携して行っている活動をご紹介します。 **【講　師】　浦安介護予防アカデミア**
令和８年 １１月６日（金） １３：００～１６：１５	4	**介護・寝たきりを予防するための骨格筋老化の基礎知識** ヒトが生涯にわたって健康で自立した生活を営むためには、日常動作の基盤となる筋肉量を維持することが必要不可欠です。当日は、介護予防の観点から、高齢者が運動する際に役立つと思われる高齢期骨格筋の特徴について紹介します。 また、参加者の皆様の脚の老化度（ロコモ度）についても評価してもらう予定です。 **【講　師】　町田　修一**（順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科教授）
	5	**介護予防のための筋力トレーニングの実践方法** 骨格筋の老化の特徴やスポーツ医科学の理論に基づく運動プログラムや評価方法について紹介し、特別な施設や測定器具がなくてもできる介護予防のための筋力トレーニングを紹介する予定です。 **【講　師】　町田　修一**

日 程	回	内 容
令和８年 １１月２４日（火） １０:００～１３:００	６ ・ ７	**ドクターズレストランのフレンチシェフに習う介護予防をテーマにした低栄養改善メニュー** フレンチシェフが要介護状態を出来る限り遅らせることを目的とした老化予防と低栄養改善の本格フレンチ料理を提案します。調理実習と試食会を実施します。 **【講　師】　櫻井　雄司**（ビストロシャテール　シェフ）
令和９年 １月１２日（火） １３:００～１４:３０ １４:４５～１６:１５	８ ・ ９	**介護予防を目指した「まちづくり」とは** 介護予防を視点とした「まちづくり」（地域連携・市民活動との関係・行政との連携）を進めるための方法、介護予防リーダーの役割を探ります。 **【講　師】　齊藤　恭平**（東洋大学大学院ライフデザイン学研究科教授）
令和９年 １月１９日（火） １０:００～１１:３０	１０	**まとめ「うらやすで介護予防を進めるために」** 本講座で学んだこと踏まえ、今後のご自身の生活にどのように実践していくのか。さらに、急速な高齢化を迎えるという「まちの問題」を抱えるうらやすが、今後どのようにあるべきかを皆さんで語り合います。 **【講　師】　櫻井　しのぶ**

備　考　　○　科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子





コーディネーターからのメッセージ　　**櫻井　しのぶ　先生**

人生１００年時代と言われる今日ですが、ただ長生きするのではなく、皆さん自立して人生を全うしたい（健康寿命）と願っています。そのためには、元気なうちからの介護予防の取り組みが重要です。私達が自らの介護予防について学び、地域で介護予防活動に取り組むことが、安心した老後の生活を送るために必要です。この講座では、自分の目で介護予防の視点を持ち、改めて浦安を見つめなおし、より充実した老後を送るために、私達に何ができるのかを考えていく機会にできればと思います。少しずつ新型コロナで制限されていた社会活動も再開してきました。自分らしく生きていくために、自分の介護予防だけでなく、誰もが安心して住み慣れた我が家で生きていける浦安市をもう一度私達の手で創るための時間にしていきたいと思っています。



講座番号【２６０２-０４】

地域を、一人ひとりを支える対話力-孤立しない居場所づくりを目指して- New

コーディネーター　岩室　紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）

【科目概要】

近年、自死や不登校、ひきこもり、孤独死といった孤立の問題が、世代を超えて深刻化しています。そうした状況に対して、「つらいことがあったら相談してください」「相談窓口は〇〇です」といった「正解」は示され続けてきましたが、それでも問題は深刻化しているのではないでしょうか。

私は今、社会のなかに「正解依存症」ともいえる傾向が広がっていると感じています。岩室紳也が考える「正解依存症」とは、「自分なりの正解を見つけると、その正解を疑うことができないだけではなく、その正解を他の人にも押し付ける、自分なりの正解以外は受け付けられない、考えられない病んだ状態」です。正解そのものが問題なのではありません。問題なのは、それが疑われることなく押し付けられ続ける時、人を苦しめてしまうことです。

精神科医の斎藤環さんは、「対話とは、面と向かって声を出して言葉を交わすこと」であり、「思春期の問題の多くは、対話の不足や欠如からこじれていく」と指摘しています。対話には、「問い」と「お互い様」という大切な要素があります。対話力を身につけることで、互いの思いを受け止め合いながら、一人ひとりが少しずつ元気になっていきます。本講座は、地域住民一人ひとりが生きやすいまちを目指し、対話力とは何かを市民の視点から受講生とともに一から考えていく講座です。

ただ、「対話力が大切です」と言われても、何から始めればよいのか、戸惑う方も多いのではないでしょうか。浦安市には、「対話」を通して地域で多様な実践を重ねている方々がいます。本講座では、５つの事例を通して、「対話とは何か」「なぜ、いま対話が必要なのか」「対話に取り組むコツは何か」を、講座内での対話を重ねながら学んでいきます。この講座は決して難しいものではありません。なぜなら、対話には一つの正解があるわけではないからです。「対話」の反対は「独り言」。ぜひ、対話を楽しみながら、ともにこの講座を作り上げていきましょう。

日 程	回	内 容
令和８年 １０月７日（水） １３:００～１４:３０	1	**なぜ、いま、「対話」か　～社会が抱えるこころの課題～** 自死、ひきこもり、うつ、孤独死といった課題の背景とともに、なぜ対話が注目されているのかを考えます。 **【講　師】　岩室　紳也**（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）
令和８年 １０月２１日（水） １３:００～１４:３０	2	**なぜ、いま、「対話」か　～独り言と対話の違い～** 「対話」の反対は「独り言」です。対話をするためにも、自分の中にある正解依存症的要素を確認し、この後の事例にしっかり学べる姿勢を身につけます。 **【講　師】　岩室　紳也**
令和８年 １１月１１日（水） １３:００～１４:３０	3	**実践事例に学ぶ①** 現在、高齢化や核家族化、生活様式の変化が影響し、地域全体で対話やつながりが減少している現状と、それに対する事業の紹介を担当課から学びます。 **【講　師】　岩室　紳也／浦安市社会福祉課**
令和８年 １１月２５日（水） １３:００～１４:３０	4	**実践事例に学ぶ②** HSP（Highly Sensitive Person）という、人いちばい敏感な感受性を持つ人・子どもの当事者を中心とし、「対話」から自分らしさを見つける活動をする団体から学びます。 **【講　師】　岩室　紳也／** **梅本　香理**（HSP/HSC リンクパートナー「Heart Smile Present」代表）
令和８年 １２月９日（水） １３:００～１４:３０	5	**事例から学ぶ対話とは** 実践事例①②に一人ひとりがどう学び、どう学べなかったのかを対話的に振り返る中で、「事例に学ぶ」ことの難しさと楽しさ、そして自分の中の対話力アップが実現できたかを考えます。 **【講　師】　岩室　紳也**

日 程	回	内 容
令和９年 １月６日（水） １３:００～１４:３０	6	**実践事例に学ぶ③** 誰もがもつ生活や経験を題材とした、やさしい対話の場を運営する市民団体から学びます。所属や世代が異なる人（ナナメの関係性の人）と話すことはどういうことか。受講者の方にも体験していただき、多様なひととの対話がなぜひとを元気にするのかについて探ります。 **【講　師】　岩室　紳也／荒木　絢子**（ナナメちゃん代表）
令和９年 １月２０日（水） １３:００～１４:３０	7	**実践事例に学ぶ④** 自宅を開放して、おとなの居場所、こどもの居場所を開催している団体から学びます。「哲学対話のデモ」、「オープンダイアログのデモ」を予定しています。 また事例として「ゲームをしている子ども同士の対話」を考えます。 **【講　師】　岩室　紳也／** **君塚　広・直子**（トーキョーコーヒー浦安・一般社団法人 Ejan 新浦安代表）
令和９年 ２月１０日（水） １３:００～１４:３０	8	**「対話」ができるようになるために求められていること** 実践事例③④に一人ひとりがどう学び、どう学べなかったのかを対話的に振り返る中で、「事例に学ぶ」ことの難しさと楽しさ、そして自分の中の対話力アップが実現できたかを考えます。 **【講　師】　岩室　紳也**
令和９年 ３月１０日（水） １３:００～１４:３０	9	**実践事例に学ぶ⑤** 地域福祉の推進を目的として活動を展開する社会福祉協議会。社会福祉協議会が目指している地域共生社会の実現に向けて、最前線で「対話」を通して実践を展開している事例をもとに、「対話」の重要性を考える機会とします。 **【講　師】　岩室　紳也／浦安市社会福祉協議会**
令和９年 ３月２４日（水） １３:００～１４:３０	10	**一人ひとりが実践できる対話とは** 実践事例①～⑤を通して、一人ひとりが学んだこととアップした対話力について、なぜアップできたのか、できなかったのか考えます。 **【講　師】　岩室　紳也**

備　考　　○　科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子





コーディネーターからのメッセージ

岩室　紳也　先生

「対話のコツは質より量。大事な話は年に一回でいい」。これは、２０２６年１月に陸前高田市で開催された「はまかだ交流会」で斎藤環先生から教えていただいた言葉です。実際に、お子さんが引きこもっていた方からは、「対話のコツを意識して関わるようになってから、子どもが少しずつ外出できるようになりました」とのお話もありました。



講座番号【２６０２-０５】

環境のために私たちにできること　-暮らしと環境とのつながりを捉え直す-

コーディネーター　　石井　雅章（神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授）

【科目概要】

この講座では、持続可能な社会を支えるひとつの柱である環境に焦点をあてて、私たちの暮らしと環境がいかにして相互に関わっているのかについて、具体的な活動をしている方々のお話を聴き、現場（フィールド）での見学や体験を通じて理解を深めていきます。具体的には、気候変動・資源循環と廃棄物・生態系と生物多様性、農林漁業と食料という４つの領域について学びます。最終的には、毎回の意見交換やディスカッションを通じて自身の考えをまとめ、持続可能な生き方・暮らし方への変容に向けた具体的なアイデアを発表・共有します。

日 程	回	内 容
令和８年 １１月１５（日） １３:００～１４:３０	1	**持続可能な社会に向けた動きを理解する** 「持続可能な開発目標（SDGs）」で示されているように、環境と社会・経済が調和した持続可能な社会づくりに向けた動きが様々な分野から取り組まれています。この回では SDGs の概要を知り、私たちの暮らしとの関わりについて考えます。 **【講　師】　石井　雅章**（神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授）
令和８年 １２月６日（日） １０:００～１１:３０ １３:００～１４:３０	2	**気候変動のメカニズムと日常生活との関わりを理解する** SDGs の中でも喫緊の課題として示されている気候変動について、そのメカニズムと自然及び社会への影響について理解します。また、日常生活の様々な場面との関わりについて具体的に考えます。 **【講　師】　温暖化防止うらやす／石井　雅章**
	3	**気候変動への緩和と適応を考える** ２０１５年に示されたパリ協定を軸として、世界では産業革命以降の平均気温の上昇を１.５℃未満に抑えようとする取り組みが進みつつあります。日常生活とのつながりから気候変動への具体的な緩和と適応策を、参加者と一緒にソーラークッキング体験をしながら議論します。 **【講　師】　石井　雅章／温暖化防止うらやす**
令和９年 １月２４日（日） １０:００～１１:３０ １３:００～１４:３０	4	**浦安市クリーンセンター見学＆解説** 浦安市クリーンセンターを見学して、資源循環と廃棄物の問題について具体的に学びます。浦安市における再資源化と廃棄物処理の取り組みを現場レベルで理解した上で、日常生活とのつながりについて考察します。 **【講　師】　浦安市クリーンセンター／石井　雅章**
	5	**循環型社会の構築に向けた動きを考える** 世界的に進みつつあるサーキュラー・エコノミー（資源循環型経済）の考え方を理解した上で、地域においてサーキュラー・エコノミーを具体的に推進するための工夫について、参加者を交えて議論します。 **【講　師】　石井　雅章／チーム５３０**

日 程	回	内 容
令和９年 ２月７日（日） １０:００～１１:３０ １３:００～１４:３０	6	**地域における生態系の大切さを理解する** 浦安市のような都市部においても生き物同士のつながりである生態系が成り立っています。私たちが暮らす地域がどのような生態系と結びつき、生き物に支えられているのかを体験的に学びます。 **【講　師】　浦安市環境保全課／石井　雅章**
	7	**地域における生物多様性を実現する** 生物多様性は希少種の保護という観点だけではなく、気候変動や自然災害などの影響にも緩やかに対応できるちから（レジリエンス）という観点でも重要な考え方です。地域における生物多様性の実現に向けてできる具体的なアイデアを、参加者を交えて議論します。 **【講　師】　石井　雅章／浦安市環境保全課／浦安三番瀬を大切にする会／浦安水辺の会**
令和９年 ２月２１日（日） １０:００～１１:３０ １３:００～１４:３０	8	**地域における暮らしと農林漁業のつながりを理解する** 私たちが日々生きるために不可欠な食料は、自然環境への働きかけを通じて得ています。地域における農林漁業と環境との関係性を浦安市郷土博物館の見学と解説を通じて理解します。 **【講　師】　浦安市郷土博物館／石井　雅章**
	9	**環境と食料、農林漁業の関係性を考える** 安心・安全な食料を地域において安定的に確保するにはどのようなことが必要でしょうか。地域における農林漁業と食料確保の重要性について、具体的な取り組みを紹介しながら、参加者を交えて議論します。 **【講　師】　石井　雅章／浦安市郷土博物館**
令和９年 ３月７日（日） １３:００～１４:３０	10	**持続可能な生き方・暮らし方を考える** 第９回までの内容をふまえて、持続可能な生き方・暮らし方への変容に向けた具体的なアイデアを受講者自らが発表・共有します。さらに講師からのコメントをふまえて、地域で協働できることを考えます。 **【講　師】　石井　雅章**

備　考　○　科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子





コーディネーターからのメッセージ

石井　雅章　先生



サステナビリティ（持続可能な社会）への移行はどの地域で暮らす人々にとっても避けることができない課題です。その実現には普段の私たちの生活（人間活動）と自然環境がお互いにどのように関係しているのかを理解することが必要です。この講座では、浦安エリアで実際に活動している皆さんによる解説や意見交換を交えて、体験的に学ぶことを目指しています。自らが暮らす浦安のことを理解し、お互いの立場や考えを尊重しながら、持続可能な社会の実現に向けて一緒に学んでいきましょう。

講座番号【２６０２-０６】

浦安のまちづくり形成史を読み解く-市民生活を支える施設や制度から-　※夜間

コーディネーター　　中山　高樹（地域政策プランナー/元浦安市市長公室長）

【科目概要】

私たちのまち「浦安」を舞台に、私たちの暮らす身近なエリアの整備がどのように形成されてきたか、市制施行後約４０年どう変遷してきたか歴史の流れを学びます。今日、私たちのまちが抱えている「まちづくり」の課題は何か、その多くはそのまちの成り立ちや都市構造に起因しているように思われます。

この講座では、令和７年度に「公の海」を埋め立て新しい都市づくりを進めてきた経緯を総合計画の変遷を核に「まちづくりの形成の歴史」を学びましたが、今年度は、都市基盤の整備とともに市民生活を支える様々な施設やそれを支える制度が、私たちが生活する身近なエリア（字や街区）にどのような影響を与えてきたかをトレースしながら、今後の課題や展望、連携の担い手としてのどのようなポジショニングを取れるかについて考えていきます。

日 程	回	内 容
令和８年 １０月８日（木） １９:００～２０:３０	1	**まちづくり形成史を学ぶ意義** カリキュラムの構成とテーマを説明しつつ、自分たちが住むまち（身近なエリア）を対象として、まちを構成する施設や制度がどのように形成されてきたかを学ぶ意義を考えます。併せて受講生全員による自己紹介、関心事を述べていただくことで、受講生による情報共有を図ります。 **【講　師】　中山　高樹**（地域政策プランナー／元市長公室長）
令和８年 １０月２２日（木） まち歩き １７:００～１８:３０ 講座 １９:００～２０:３０	2	**既成市街地のまちをつくり替える（元町の居住環境改善事業の現場にて）** 堀江・猫実の元町エリアの土地区画整理事業で新たにつくられた宅地や新たに通り抜けた道路や区画道路などを現地で見ながら、街が少しずつ変容してゆく姿を見ることを通じて、計画的に大規模につくられてきた埋立地域とは違った都市整備の魅力と難しさを学びます。 **【講　師】　中山　高樹**
令和８年 １１月５日（木） １９:００～２０:３０	3	**住みたいまちにするために自分たちでルールをつくる** 計画して整備されたまちでも環境を守り続けるのは大変です。隣の土地などに新たな建物が建ち近隣紛争になることなども珍しくなく、自分たちでルールづくりをすることも大切です。市内で様々な取組がなされています。それらの歴史を振り返りながら、今後の課題について話し合います。 **【講　師】　中山　高樹**
令和８年 １１月１９日（木） １９:００～２０:３０	4	**道の役割とつくり方を知る** 私が家に住むためには、私たちが住む街とつながる道が必要不可欠です。さらにそれらの道を通じて街とつながり、さらに都市と都市を結ぶ幹線道路につながっています。また街の中には快適な生活空間を提供する道もあり、道の下には様々な施設が配置され様々な目的で利用されています。これらの歴史を学びます。 **【講　師】　中山　高樹**
令和８年 １２月３日（木） １９:００～２０:３０	5	**街と自然をつなげ、みどりを育てる** 埋立地の開発が進み残されている自然を見つけ出すのは難しくなっていますが、計画的につくられた街の輪郭をつくっている緑や公園にも様々な工夫が取り込まれています。街中に点在するみどり、それを大切に育てているみどりのコミュニケーションの輪もあります。これらの歴史を振り返り今後の進め方を考えてみましょう。 **【講　師】　中山　高樹**
令和９年 １月１４日（木） １９:００～２０:３０	6	**堤防で守られたまちの現状をどう改善できるか** 三方を堤防に囲まれた浦安市は水との闘いの歴史のまちです。カミソリ堤防に囲まれた街で安全かと言われ続けてきましたが、排水機場や水門の整備に長年取り組み、最近では大きな被害を受けていません。しかしながら気候変動などの影響で瞬間的な降水量の増大など危険性は高まっている現在、これらの課題に対応しつつ、市民が待ち望んでいる日常的な親水性との両立をどうしたら進められるかを考えます。 **【講　師】　中野　恒明**（芝浦工科大学名誉教授）／**中山　高樹**

日 程	回	内 容
令和９年 １月２８日（木） １９:００～２０:３０	7	**目の前に広がる海とどう付き合うかを考える** 埋立地の突端に行ってもコンクリート護岸とその先にはテトラポットがあるのみで、海で泳いだり砂浜で遊んだりすることはできません。浅い海を埋め立てて４．５Ｍの高さで造成した土地のせいです。目の前に広がる海を再認識し、浦安ならではの海の利用やつきあい方を模索している団体も出てきています。海に囲まれて暮らす私たちは、海とどのように付き合っていけば良いかを考えます。 **【講　師】　中山　高樹**
令和９年 ２月４日（木） １９:００～２０:３０	8	**防災とまちづくりの関わりを事前と事後で考える** 東日本大震災時に液状化で大きな被害を受けた浦安ですが、今後想定される首都圏直下型地震が起きた時、どんなことが起こるのでしょうか？地震による被害を少なくする、地震後でも人間らしい生活を送るため事前に備えておくべきことは？直後から対応を求められる行政の取り組みとは別に、市民一人一人が取り組むべき所有者による再建復興が不可欠になります。 **【講　師】　小林　恭一**（元東京理科大学火災科学研究所教授・入船中央エステート自治会防災部長）／**中山　高樹**
令和９年 ２月２５日（木） １９:００～２０:３０	9	**まち中の施設や居場所を使い込んでいくために必要なことは？** 市内にある様々な施設は、市民ニーズに合わせて市民が使うために作られます。でも、子どもたちが大人になり、大人たちが老人になるように、住む人の成長や変化に伴い市民ニーズも変わってきます。与えられた施設を自分たちの使い勝手のよいものに、より住みやすいまちに変えていくには行政との連携や協力のためのプロセスが必要です。浦安の連携と協力の歩みについて考えてみましょう。 **【講　師】　泉澤　佐江子**（北栄カシス店主・元浦安市職員）／**中山　高樹**
令和９年 ３月１１日（木） １９:００～２０:３０	10	**集まって住むことの意味を改めて考えよう** 私たちは日々大勢の人たちと暮らしています。なぜ集まり、どんな関係を持ちながら暮らしているのでしょうか？改めて、計画的につくられた場所に集まって住む意味は？得られる利便は何か？我慢すべきルールは何か？そして、集まって住むことの基礎となる地域社会（人々がつくりだすコミュニティ）にどう関わり、今後どう関わっていくべきかを考えます。 **【講　師】　中山　高樹**

備　考　○　科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子





コーディネーターからのメッセージ　　中山　高樹　先生

昨年秋学期に引き続き、私たちのまち「浦安」を舞台に、私たちが暮らす身近なエリアがどのように形成されてきたか、まちづくりを形成してきた歴史を学びます。浦安市で取り組んだ市民生活を支えてきた様々な施設や制度が、私たちの生活する身近なエリア（字や街区）にどのように影響を与えてきたか考えます。

今期は、学生や現役世代にも受講していただけるよう平日の夜間に開催します。幅広い世代での意見交換の場にできればと期待しています。



講座番号【２６０２-０７】

安全で安心なまちづくり　ー自分たちのまちは自分たちで守ろうー

コーディネーター　　平田　恵二（元千葉県警察犯罪抑止戦略官）

【科目概要】

平成 15 年から 19 年連続で減少していた県内の刑法犯認知件数は、令和４年以降４年連続で増加し、特に令和７年は「ニセ警察詐欺」の増加により、詐欺の被害総額が 73 億円を超え、過去最高を記録しました。

また、いわゆる「トクリュウ」と呼ばれる匿名・流動型犯罪グループによる凶悪な強盗事件や、SNS 型投資・ロマンス詐欺等の特殊詐欺など、新たな犯罪が私たちの生活を脅かしています。

犯罪から身を守るためには、市民一人一人が「今、身の周りでどんな犯罪が発生しているか」という犯罪の実態を知り、そして「どうすれば被害を防げるか」という正しい防犯知識を身に着けるとともに、「自分たちのまちは自分たちで守る」という高い防犯意識を持ち、地域ぐるみで犯罪のない街づくりに取り組むことが必要です。

犯罪のない安全で安心なまちづくりのために市民一人一人がどう行動すべきか、地域でどのような防犯対策に取り組むべきかを学び「犯罪に強い安全なまち・うらやす」の実現を目指しましょう。

日 程	回	内 容
令和８年 １０月８日(木) １０:００～１１:３０	1	**犯罪抑止対策の経緯（日本は世界一安全な国？）** 「世界一安全な国」「水と安全はタダ」と言われた時代から、平成期の治安の急激な悪化と治安回復のための警察の取り組みなど、過去の犯罪抑止対策の経緯を振り返りながら、防犯対策の重要性を学びます。 **【講　師】　平田　恵二**（元千葉県警察犯罪抑止戦略官）
令和８年 １０月１５日(木) １５:００～１６:３０	2	**防犯ボランティアの概要（安全安心まちづくりに参加しよう）** 県内の自主防犯団体の概要や活動状況等を説明するとともに、浦安市独自の取り組みである学生防犯ボランティア「Ｖ５」の活動状況や効果的事例等を紹介します。また、新浦安駅前で実施されている防犯キャンペーンに参加し、地域における自主防犯活動や広報啓発活動を学びます。 **【講　師】　平田　恵二**
令和８年 １０月２９日(木) １０:００～１１:３０	3	**高齢者の防犯対策（留守番電話は犯罪を防ぐ「カギ」）** 高齢化社会を迎え、犯罪のターゲットとなりやすい高齢者が犯罪から身を守るためにはどうすべきか、身近な固定電話機対策を中心に電話 de 詐欺の被害防止を中心とした防犯対策を学びます。 **【講　師】　平田　恵二**
令和８年 １１月１２日(木) １０:００～１１:３０	4	**女性の防犯対策（「あ・お・ぼ・ー・し）を実践しよう** 女性警察官の発想から生まれた、千葉県警察独自の女性による自主防犯対策啓発チーム、よくし隊「あおぼーし」による実践型防犯講座を受講します。 犯罪から身を守るための簡単な護身術や、性犯罪等の被害から身を守るために日頃から心がけておくべきことを、女性警察官がわかりやすく教えます。 **【講　師】　平田　恵二／ 千葉県警察・よくし隊「あおぼーし」**
令和８年 １１月２６日(木) １０:００～１１:３０	5	**子どもの安全対策（未来を担う子供たちを守ろう）** 子どもたちの周りでどんな犯罪が発生し、子どもたちを犯罪から守るために保護者や学校、地域住民が何をすべきかを考えるとともに、地域の大人たちが犬の散歩や花の水やり等を通じて子どもたちの登下校を見守る「ながら防犯」など、すぐに実践できる防犯対策について学びます。 **【講　師】　平田　恵二**

日 程	回	内 容
令和８年 １２月３日(木) １０:００～１１:３０ １３:００～１４:３０	６ ・ ７	**警察学校見学（千葉県警察の「教場」を見てみよう）** 東金市に所在する千葉県警察学校（警察職員として必要な知識、技能、体力を身に着けるための職業訓練学校）を見学し、千葉県警察の組織や警察官の活動について学びます。 また、警察官を目指す学生たちの訓練風景を見学し、治安を担う警察官がどのような訓練を積んで現場に出るのかを学びます。 **【講　師】　平田　恵二**
令和８年 １２月１７日(木) １０:００～１１:３０	８	**交通安全対策（高齢者を交通事故から守るために）** 高齢化社会を迎え、高齢者が交通事故の加害者や被害者にならないために注意すべき対策を千葉県警察の交通伝承官から学びます。 また、市内の交通情勢や自転車の交通違反に対する交通反則通告制度（青切符）等について交通警察官から学びます。 **【講　師】　伊藤　正俊**（千葉県警察交通伝承官）／**浦安警察署交通課**
令和９年 １月１４日(木) １０:００～１１:３０	９	**県内及び市内の犯罪情勢と自主防犯対策（情報を活用しよう）** 犯罪から身を守るためには、まず、自分たちの身近でどんな犯罪が発生しているのか、地域の犯罪実態を知ることが不可欠です。 警察等が公表しているオープンデータや、県警が公開している「犯罪発生マップ」、「不審者情報マップ」、「交通事故マップ」等の活用方法を学ぶとともに、これらの情報を活用した自主防犯対策や地域で取り組む自主防犯パトロールについて学びます。 **【講　師】　平田　恵二**
令和９年 ２月４日(木) １０:００～１１:３０	１０	**安全で安心なまちづくりのために（学んだことを実践しよう）** 安全で安心なまちづくりのためには、地域住民一人一人が高い防犯意識を持ち、地域ぐるみで防犯対策に取り組むことが必要です。 本講座で習得した防犯知識を周りの人にも伝えられるよう、９回の講座を振り返り、復習します。 **【講　師】　平田　恵二**

備　考　○　科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子





コーディネーターからのメッセージ

平田　恵二　先生

　通信媒体やＳＮＳの発達は、私たちの生活を豊かにする一方、電話ｄｅ詐欺やＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺などの新たな犯罪や、トクリュウと呼ばれる「匿名・流動型犯罪グループ」を生むなど、負の側面もあります。
　これらの犯罪から身を守るためには、市民一人一人が犯罪から身を守るための正しい防犯知識を身に付けるとともに、「自分たちのまちは自分たちで守る」という高い防犯意識を持ち、地域全体で犯罪の起こりにくいまちづくりに取り組むことが必要です。
「犯罪に強い安全なまち・うらやす」を実現するため、市民一人一人がどう行動すべきか、地域でどのような防犯対策に取り組むべきかを一緒に考えましょう。



講座番号【２６０２-０８】

子育てを支える“まち”をつくる-多様な立場から考える共助のデザイン- New

コーディネーター　　大神　優子（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）

【科目概要】

本講座では、子育てを支えるまちづくりをテーマに、多様な立場からの実践事例や課題を学びます。保育現場や子育て支援施設との連携、母子保健、大学における地域支援等の取り組みを通して、それぞれの役割の違いや強みと限界について理解を深めます。その上で、講義とディスカッションを通じて、地域全体で子育てを支えるために何が求められるのかを考え、市民としてどのように関わることができるかについて、具体的に構想していきます。

日 程	回	内 容
令和８年 １０月１７日（土） １３:００～１６:１５	1	**地域で子育てを支える　その１（１）** 保育園では、それぞれの地域が持っている力や自園の得意を生かして、どのような子育て支援や交流に取り組んでいるか等の話を通して、多様な方々との関わり合いの中で子どもが育つ大切さを考えます。 （コーディネーターによる講座のガイダンスを冒頭に行います。） また、子育てに関するさまざまな課題と、それらの課題解決に向けて展開している具体的な事業内容について担当課から学びます。 **【講　師】長谷川　美加**（社会福祉法人芳雄会ふたば保育園園長）／ **浦安市こども課**／ **大神　優子**（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）
	2	**地域で子育てを支える　その１（２）** （１）での学びを踏まえたグループワークを通して、「私」の得意を生かした子育て支援への参加を考えます。 **【講　師】　長谷川　美加／大神　優子**
令和８年 １０月２４日（土） １３:００～１６:１５	3	**地域で子育てを支える　その２（１）** 親子がすこやかに安心して育つことができる子育て環境づくりのために、地域の住民や専門家としてどのような役割を果たせるか子育て支援施設等と大学との連携事例を通して考えます。 **【講　師】　矢萩　恭子**（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）
	4	**地域で子育てを支える　その２（２）** （１）での学びを踏まえたグループワークを通じて、地域で子育てを支えるための取組について考えます。 **【講　師】　矢萩　恭子**
令和８年 １１月７日（土） １３:００～１６:１５	5	**乳幼児と親のやりとりをどう見るか―親子相互作用入門（１）** 乳幼児と養育者は、視線やしぐさ、声などを通して互いにメッセージをやりとりしながら関係を築いています。こうした親子のやりとり（親子相互作用）を理解することは、子どもの行動の背景や親の関わりを捉える手がかりとなり、支援のヒントにつながります。 **【講　師】　河村　秋**（和洋女子大学看護学部看護学科教授）
	6	**乳幼児と親のやりとりをどう見るか―親子相互作用入門（２）** （１）での学びを踏まえたグループワークを通じて、地域で親子の関係性を支える取り組みについて考えます。 **【講　師】　河村　秋**

日 程	回	内 容
令和８年 １１月２１日（土） １３:００～１６:１５	7	**地域支援活動を“みんなの活動”に（１）** ２０２２年から、大学内で子育て支援の交流会「あそぼう・はなそう会」を開いてきました。根底にあるのは、交流を通して共に育ちあおうという思いです。新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で始まった本会において、企画側として試行錯誤してきた様々な工夫についてお話しします。 **【講　師】　弓削田　綾乃**（和洋女子大学家政学部生活環境学科准教授）
	8	**地域支援活動を“みんなの活動”に（２）** （１）での学びを踏まえたグループワークを通じて、新たな地域支援活動の運営について考えます。 **【講　師】　弓削田　綾乃**
令和８年 １２月５日（土） １３:００～１６:１５	9	**これまでの学びを振り返る** グループワークを通じてこれまでの学びを振り返り、自身の視点について改めて考えます。 **【講　師】　大神　優子**
	10	**多様な立場から考える共助のデザイン** 子育てを支える“まち”の具体的な企画について、グループワークを通じてそれぞれの立場から考えていきます。 **【講　師】　大神　優子**

備　考　　○　科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子





コーディネーターからのメッセージ　　大神　優子　先生

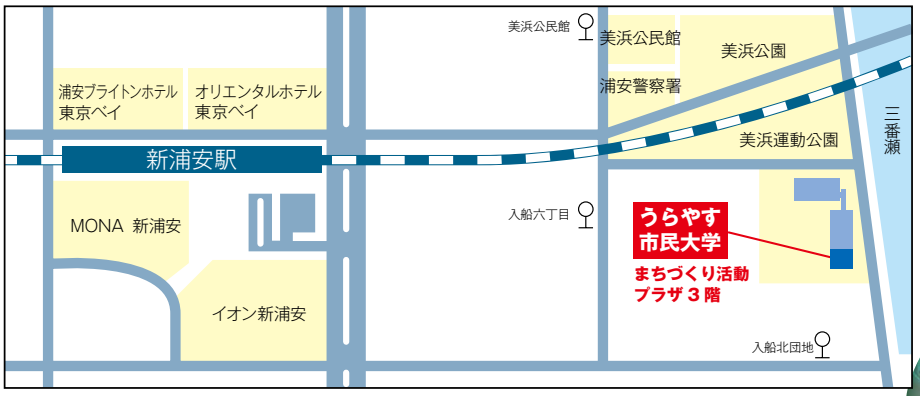
AI を含めてさまざまに社会情勢が変化する中でも、子育ての重要性は変わりません。

本講座では、多様な実践事例の「舞台裏」を知ることで、企画側・利用者側の双方の立場からできることを考えます。子（孫）育て経験の有無にかかわらず、これまでと異なる視点で、ご一緒に考えてみませんか。





アクセス



《公共交通機関》
◎ＪＲ新浦安駅から徒歩約 12 分
◎おさんぽバスじゅんかい線
「入船北団地」下車徒歩約５分
「美浜公民館」下車徒歩約７分
◎京成バス千葉ウエスト千鳥営業所１系統
「入船六丁目」下車徒歩約５分

《お車でお越しの場合》
◎駐車スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
◎うらやす市民大学専用の駐車場ではありません。
◎駐車後、１階管理室にて駐車場利用簿にご記入いただく必要があります。



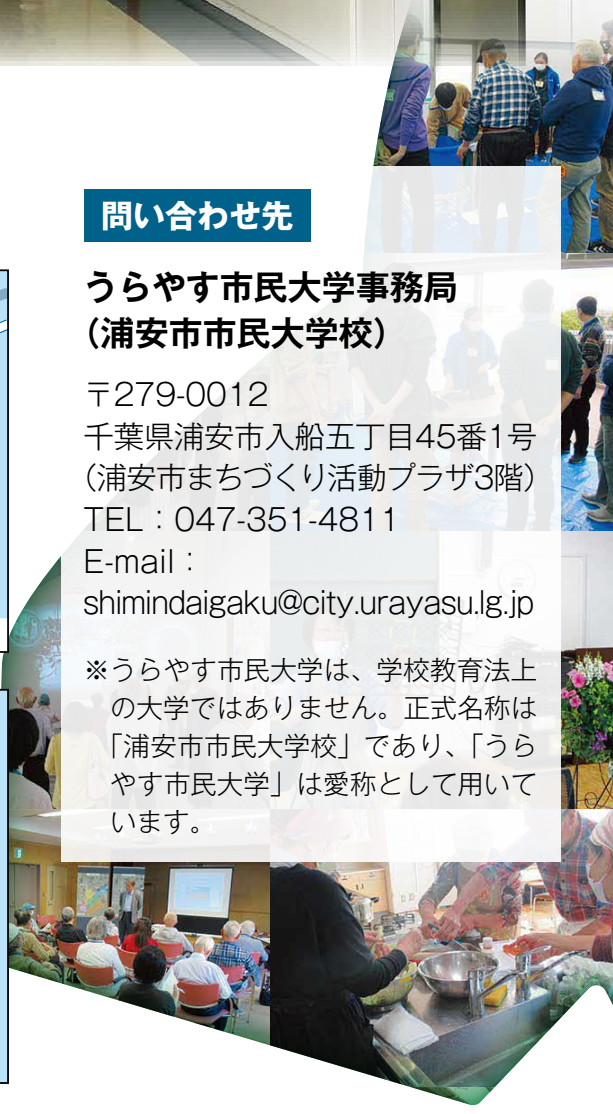
まちづくり活動プラザとは…
　まちづくり活動プラザは、様々な世代の人々が交流やまちづくり活動をすることができる施設です。入船地区学校統合に伴い、「旧入船北小学校」をリニューアルし、平成30年度にオープンしました。施設では、まちづくり活動団体による5事業と市の5事業が運営されています。また、市民の皆さんが活動できる多目的室や体育館、運動場もあります。

問い合わせ先

うらやす市民大学事務局
（浦安市市民大学校）

〒279-0012
千葉県浦安市入船五丁目45番1号
（浦安市まちづくり活動プラザ3階）
TEL：047-351-4811
E-mail：
shimindaigaku@city.urayasu.lg.jp

※うらやす市民大学は、学校教育法上の大学ではありません。正式名称は「浦安市市民大学校」であり、「うらやす市民大学」は愛称として用いています。



浦安市